

手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率

【指標の意義・定義】

意義：周術期感染予防は手術成績向上と医療関連感染の低減に直結します。予防的抗菌薬の投与タイミングは感染制御の効果に重要な影響を及ぼし、手術開始前 1 時間以内の投与が推奨されています。本指標は適切なタイミングでの予防的抗菌薬投与をモニタリングするものです。

定義：予防的抗菌薬を手術開始前 1 時間以内に投与された手術症例の割合（全手術症例に対する 1 時間以内投与例の割合）。

【当院の実績】

2024年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
97.7%	100.0%	98.9%	97.3%	98.2%	96.3%	98.8%	100.0%	100.0%	97.8%	97.8%	98.8%

【指標の説明】

- ・適切なタイミングでの投与は、細菌の術部定着を抑制し、術後感染リスクを低減します。
- ・対象手術：清潔手術
- ・評価ポイントとして、抗菌薬の種類、投与量、手術部位感染症（SSI）の発生率なども補助的なデータとして収集可能です。
- ・適時な投与率が向上すれば、標準的な術後感染予防策の遵守状況を示すものとなり、さらなる介入計画の土台を提供します。